

素案への意見、修正箇所等の新旧対照表 (1/2)

資料3

番号	意見等の内容	資料区分	修正の有無	旧頁	旧取組等	修正前	新頁	新取組等	修正等	備考
1	昨年度、数回にわたる話し合いの場で行われた内容等について、しっかり検討され、まとめられたことが読み取れました。	全般	無	—	—	—	—	—	—	懇話会
2	小樽市の雪対策基本計画は、各方面の意見、データの収集等の開示を、今後の施策へ十分に反映されたものと思います。	全般	無	—	—	—	—	—	—	懇話会
3	小樽市の雪対策の予算を、計画に基づき、いかに実効性のある施策をタイムリーに実施していくことが重要であり、人材不足及び高齢化、機械の老朽化及び維持、市民との協働等の取組について、着手できるものは早急に進めるべき事案であり、市民と共に雪対策、安全確保の雪対策を実行していただきたい。	全般	無	—	—	—	—	—	※早期に取り組める項目を見直し、早期の実施に向けて取組を進めます。	懇話会
4	各資料(①、②、③、④)を確認した結果、意見等はありません。	全般	無	—	—	—	—	—	—	懇話会
5	「雪対策」は、行政の課題でありながら、市民ひとりひとりの課題でもあり、基本計画を策定する以上、各年度別の少しづつ前進や積み重ねが見えるようにするのは大切なことではないか?	全般	無	—	—	—	—	—	※除雪懇談会等で、基本計画の進捗状況についての情報発信方法を検討します	懇話会
6	小樽市の地勢、現在の市民(人口)の分布にもよるが、10年の計画をたてるのであれば、現状受入(後追い)型も重要であるが、都市計画等との連動性を持たせるのが望ましい本来の姿ではないだろうか? (土地区画、建坪の考え方や地形、地区別の将来を見据えた指導等)	全般	無	—	—	—	—	—	※将来に向けての課題として考えます。	懇話会
7	毎年、開催されている除雪懇談会について、その時でた質問をしっかりと記録し、翌年の場で、「昨年こういう意見が出ていましたが、こう対応しました。今年はこうする予定です」など、市役所の対応が変わったと思うような意見交換会を期待します。	全般	無	—	—	—	—	—	※除雪懇談会について、御意見を参考に、今年度からの実施に向けて取り組みます。	懇話会
8	重点施策における取組の方向性、具体的な取組について細部にわたって、良く検討されておりますが、計画推進年度内(短期・長期)に実施実現するに当たって、具体的な取組についての優先順位を検討してみたいでしょうか?	全般	無	—	—	—	—	—	※事業実施に向けて、優先順位を検討してまいります。	懇話会
9	「雪対策基本計画」と「年度ごとの除排雪計画」の役割分担を記載した方がよい	素案資料	有	P2	図2-1 計画の位置付け	・第7次小樽市総合計画 ・小樽市雪対策基本計画 ・年度ごとの除排雪計画	P2	図2-1 計画の位置付け	※各計画の内容を図中に記載。 ・第7次小樽市総合計画 ●市政運営を行うための将来展望に立った総合的な指針 ・小樽市雪対策基本計画 ●持続可能な除排雪のため、将来を見据えた雪対策の方向性を定めた指針 ・年度ごとの除排雪計画 ●単年度ごとに策定する除排雪体制、除排雪計画、凍結路面対策等の実施計画	庁内
10	取組②-(v)市民の皆さんとの情報共有 R5年度を目途に検討とありますが、市民が情報を気軽に提供できるよう、しっかり周知できるアナウンスをしてほしい。道路情報の提供がなければ意味がない。	素案資料	有	P12	方向性1 取組②	取組②-(v)市民の皆さんとの情報共有 備考欄: ※R5年度を目途に検討	P12	方向性1 取組②	取組②-(v)市民の皆さんとの情報共有 備考欄: ※R3年度を目途に検討し、可能なものから実施	懇話会
11	P5、課題2の除雪オペレータの高齢化の件は、記載のとおりだと思います。ベテランオペレータによる人材育成。平均年齢が40歳代前半になるよう、現役2、30代を育成してほしい。	素案資料	有	P13	方向性2 取組③	取組③(ii) 除雪業務における技術の継承 (略)～技術等を活用しながら、～(中略)～オペレータの技術(経験)等を次世代に引き継いでいきます。～(以下、略) 取組③(iii) 除雪業務の担い手の確保 除雪業務の担い手(管理技術者等)を確保～(以下、略)	P13	方向性2 取組③	取組③(ii) 除雪業務における技術の継承 (略)～技術等を活用するとともに、～(中略)～オペレータの技術(経験)等を、若い人材を育成しながら、次世代に引き継いでいきます。～(以下、略) 取組③(iii) 除雪業務の担い手の確保 除雪業務の担い手(管理技術者、除雪オペレータ等)を確保～(以下、略)	懇話会
12	大雪等緊急時に於ける除雪ステーション間の連携・協力の調整・対応はどのようにして実施されるのですか?	素案資料	有	P13	方向性2 取組③	取組③(v) 除雪ステーション間の連携・協力 大雪時の作業の遅れ、除雪機械の故障～(以下、略)	P13	方向性2 取組③	取組③(v) 除雪ステーション間の連携・協力 市は、除雪ステーション間の調整を行い、大雪時の作業の遅れ、除雪機械の故障～(以下、略)	懇話会
13	取組③(iii) 除雪業務の担い手の確保について、除雪業務の担い手を確保するため、現在、どのようにして確保しているのか。今後は、通年業務を確保するよう方策を調査、研究するとあるが、現段階で何か考えている策があるのであれば、記述を加えた方がよいと考えます。	素案資料	有	P13	方向性2 取組③	取組③(iii) 除雪業務の担い手の確保 (略)～つながるような方策を調査、研究します。～(以下、略)	P13	方向性2 取組③	※具体的記述を加えます。 取組③(iii) 除雪業務の担い手の確保 (略)～つながるような方策(夏冬の維持業務等の一括発注など)を調査、研究します。～(以下、略)	分科会

※ : 考え方等
— : 修正、追記箇所

素案への意見、修正箇所等の新旧対照表 (2/2)

番号	意見等の内容	資料区分	修正の有無	旧頁	旧取組等	修正前	新頁	新取組等	修正等	備考
14	計画推進期間内に於いて、ロードヒーティングのランニングコスト減対策として、設備方式を切り替えて行く計画はありますか？	素案資料	有	P14	方向性2取組⑤	取組⑤-(i)ロードヒーティング長寿命化計画の策定 (略)～検討することにより、効率的で経済的なロードヒーティング設備の延命化を図り～(以下、略)	P14	方向性2取組⑤	取組⑤-(i)ロードヒーティング長寿命化計画の策定 (略)～検討することにより、効率的で経済的なロードヒーティング設備の方式(電気、ガス等)を検討することや延命化を図り～(以下、略)	懇話会
15	今年度に更新するロータリ車が、リース車を減らすことになるのであれば、市所有台数が1台増えることになるので、目標数値を見直すのか。	素案資料	有	P14	方向性2取組④	取組④-(ii)除雪機械の維持 市所有の除雪機械台数 目標値等：28台	P14	方向性2取組④	取組④-(ii)除雪機械の維持 市所有の除雪機械台数 目標値等：38台 ※リース車7台、砂散布車3台の10台を現有所有台数28台に追加	建設常任委員会
16	雪対策基本計画に市民との役割分担として、守っていただくルール(雪出し禁止、違法駐車禁止等)の記述が必要ではないか。	素案資料	有	-	-	新規追加項目	P21 P25	課題6 方向性3取組⑥	課題6 ⑥冬のルール等(追加) 取組⑩「冬のルールとお願い」の周知(追加)	建設常任委員会
17	上記1の「冬のルールとお願い」の周知に、ロードヒーティングへの雪出し禁止の記載をした方がよい。	素案資料	有	-	-	新規追加項目	P25	(1)冬に守っていただきたいルール事項の励行	特に、ロードヒーティングの箇所への雪出しは、走行する車にとって大変危険となるだけでなく、過大な電気代が発生しますのでやめましょう。	庁内
18	小型除雪機の購入等支援については、購入後のメンテナンスやボランティアの方々への燃料費等消耗品の支援についての取組も検討する必要がある。 また、除雪機の貸出については、市内での運搬等は支障が大きいと考えることから、シーズンを通してのものと考えてるべきではないかと思う。	素案資料	無	P22	方向性3取組⑥	-	P23	方向性3取組⑥	※制度設計時の参考としたい	分科会
19	大雪が降ると、地域のお年寄りの方々は雪置場に大変苦勞しております。近くに空き地があっても、お願いしても置かせてもらえない。 そのような土地所有者もおり、市として優遇処置等を優先的に検討してもらいたい。	素案資料	無	P23	方向性3取組⑥	-	P24	方向性3取組⑥	※「取組⑥-(iii)雪置場の確保」において、「～、市が支援を行うことを検討します」と記載しています。	懇話会
20	「有償の場合の補助～」の例示表現が分かりづらい。	素案資料	有	P23	方向性3取組⑥	取組⑥-(iii)雪置場の確保 (略)～「雪置場」を確保する時に、有償の場合への補助、無償の場合には土地所有者へ固定資産税の一部減免などを想定しています。～(以下、略)	P24	方向性3取組⑥	(略)～「雪置場」を確保する時に、市がその費用の一部を助成することなどを想定しています。～(以下、略)	庁内
21	P12、市民の声は地域の声であり、苦情としてとらえれば、減らすことが改善されていることになるのですが、地域の現状と問題点を反映しているの、「地域の声」としてください。	素案資料	有	P24	方向性4	2)方向性4 地域の実情に応じた雪対策の推進 (略)～除雪懇談会等を通じて、さらなるコミュニケーションを図り～(以下略)	P26	-	※地域全般に係る内容については、「取組⑩-(i)地域の実情に応じた連携と協力」の中で、「地域の声」を「提言」として反映したいと考えています。 2)方向性4 地域の実情に応じた雪対策の推進 (略)～除雪懇談会等を通じて、地域からの提言等を受けるなど、さらなるコミュニケーションを図り～(以下略)	懇話会
22	P6「市民の声」の分類では市民からの「提言」というものが「依頼」というものに隠れているやにも考える。 「提言」という積極的な市民参加を明確にはいかか。 (以下関連ページの同項目図表について整合性を求める)	素案資料	有	P24	方向性4	2)方向性4 地域の実情に応じた雪対策の推進 (略)～除雪懇談会等を通じて、さらなるコミュニケーションを図り～(以下、略)	P26	方向性4	「提言」については、 「2)方向性4 地域の実情に応じた雪対策の推進」の中で、反映したいと考えています。 (略)～除雪懇談会等を通じて、地域からの提言等を受けるなど、さらなるコミュニケーションを図り～(以下、略)	分科会
23	地域に於いて小規模な「雪置場」の確保が難しい中、小樽市の地勢を生かした流雪溝等の導入についての長期ビジョンの具体的な検討を行ってほしい。	素案資料	無	P27	方向性5取組⑫	-	P27	方向性5取組⑫	流雪溝については、「取組⑫-(ii)融雪施設、流雪溝の調査、研究」において取組を考えています。	懇話会
24	R2より調査・研究(R5年度を目途)、R6より見直し反映と記載されていますが、R6からは実施となるのではないのでしょうか。	素案資料	無	P30	基本計画の進行管理表	-	P32	基本計画の進行管理表	R6に実施を予定していますが、内容によっては実施時期が変更となる場合がありますので、表記として、「見直し反映」としています。	懇話会
25	実施(R3年度から予定)の項目が少なく、調査・研究(R5年度を目途)が多く感じられます。	素案資料	有	P30	基本計画の進行管理表	・1-②-(v) R2調査・研究 →(R5年度を目途) ・2-③-(v) R2調査・研究 →(R5年度を目途) ・3-⑥-(ii) R2調査・研究 →(R5年度を目途) ・4-⑩-(i) R2調査・研究 →(R5年度を目途)	P32	基本計画の進行管理表	※早期に取り組める項目を見直し、早期の実施に向けて取組を進めます。 ・1-②-(v) R2調査・研究 R4実施→ ・2-③-(v) R2調査・研究 R3実施→ ・3-⑥-(ii) R2調査・研究 R4実施→ ・4-⑩-(i) R2実施、調査・研究→	懇話会
26	「調査・研究」自体はとても大切なことではあるが、R5迄でR6以降見直し・反映となっているのは、少しいねいさに欠けるのではないか？ (例)1-②-(v)「市民の皆さんとの情報共有」は、調査・研究し、R5年度を目途に検討となっているが、調査1年度、研究2年度目、3年度目検討とすれば、1～2年早く目指すところにレベルを上げられるのではないか？ 3-⑥-(iii)「雪置場の確保」も同様。	素案資料	有	P30	基本計画の進行管理表	・1-②-(v) R2調査・研究 →(R5年度を目途) ・2-③-(v) R2調査・研究 →(R5年度を目途) ・3-⑥-(ii) R2調査・研究 →(R5年度を目途) ・4-⑩-(i) R2調査・研究 →(R5年度を目途)	P32	基本計画の進行管理表	※早期に取り組める項目を見直し、早期の実施に向けて取組を進めます。 ・1-②-(v) R2調査・研究 R4実施→ ・2-③-(v) R2調査・研究 R3実施→ ・3-⑥-(ii) R2調査・研究 R4実施→ ・4-⑩-(i) R2実施、調査・研究→	懇話会

※ : 考え方等
— : 修正、追記箇所